

HCF news

人とブカを
つなぐ情報誌

HAMAMATSU
CULTURAL FOUNDATION

Vol.

25

2017 Summer

特集1

雅楽とヴァイオリン、アコーディオンが
融合する瞬間

雅楽師

東儀秀樹

ヴァイオリニスト

古澤 巖

インタビュー

特集2

第10回浜松国際ピアノコンクール
審査委員長としての思い

ピアニスト 小川典子 インタビュー



公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

VOL.25 | 2017 Summer

contents

04		[特集1] 雅楽師 東儀秀樹／ヴァイオリニスト 古澤巖 インタビュー
08		[特集2] ピアニスト 小川典子 インタビュー
12		[のんびり、ゆっくり、みゅーじあむvol.14] 博物館の新たな社会的役割
14		オークラアクティシティホテル浜松 ホテルクラウンパレス浜松
16		[こだわりの食とともにコンサートの余韻を楽しむ。] おばんざい えん バル029 (オニク)
18		[コンサートにお出掛け、その前に…] ヤマハミュージックリテイリング浜松店
20		[ちょっと気楽に、もっと音楽を] Marechiare (マレキアーレ)
24		HCF Event Schedule
29		[お知らせ] 友の会ビバーチェクラブのご案内 こんにちは! 天竜壬生ホールです。

はじまりはいつも、
ヒトツの感動から。

人との出逢いは文化との出合い。

淡いピンク色の景色も過ぎ去り、万緑が眩しいこの季節。
別れがあった後の出逢いは、新たな発見が多い。
環境も変わり、通る道も変わり、時間の流れも変わり・・・。
新しい生活に戸惑いながらも、少しソワソワする感じが心地よい。

新たに出逢った人は、どんな音楽を聴くのだろう。
どういった映画を見るのだろう。
そして、どのような本を読み、どういう風景をいつも見ているのだろう。

人と触れ合うことは新たな発見を与えてくれ、自分の知らない
世界が広がっていく。
旧知の文化や前衛的なパフォーマンスなど、様々な文化を語る
友となった人からの刺激が感動の始まり。

私たち浜松市文化振興財団は、人と文化をつなぐ場所を皆様
お届けしてまいります。
すべてのはじまりは、そう、ヒトツの感動から。

公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

今月の表紙



専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー
イラストレーション科 2年
宮川 理帆(みやかわりほ)

作品名「人魚の想い」

この作品は、自身のテイストであるキラキラ×
シルエットをもとに、人魚の淡く切ない心模様
を海に浸透するイメージで描き、その中を人魚
が泳ぐという物語風に制作しました。



「それぞれの強烈な演奏スタイルのぶつかり合い、それが『丁々発止』」

雅楽師 **東儀秀樹** × ヴァイオリニスト **古澤巖**

HIDEKI TOGI

IWAO FURUSAWA

Interview

雅楽器とヴァイオリン、アコーディオン、こぎーを互いに熱くさせ、化学反応を起こす…というユニットでアクトシティに登場します。伺いました。

の3つの異なる音楽性の融合は、彼らのエネルギッシュな音楽魂をもつ孤高の3人が「TFC55」メンバーの東儀秀樹さん、古澤巖さんにお話を

3月13日 倉敷市芸文館ホールにて 文・撮影 / (公財) 浜松市文化振興財団



■ 2001年「午後の汀^{みぎわ}」で浜松公演をしてくださったお二人。思い出はありますか？

東儀 (以下：東) 楽器博物館に行きましたね。僕は世界の民族楽器のコレクターでもあるから、色々な楽器を古澤さんに説明して…もうずいぶん昔だなあ。

古澤 (以下：古) あの頃は、僕は厄年で、実はあんまり元気がなかったですね (笑)。東儀くんとはそれ以前からの長い付き合いです…よく続くよね。

■ TFC55結成のきっかけを教えてください。

東) 最初の出会いはあるイベントでの共演です。その後、大天才と言われ名を馳せていたヴァイオリニストの古澤さんがコンサートで何度も僕をゲストに呼んでくれたんです。それが「午後の汀」というシリーズ。僕の曲を古澤さんと色々な雰囲気演奏す

るコンサートでした。それが10年ほど続き、そのうち僕の全国ツアーを古澤さんと2人のツアーとして回るようになりました。そこに5年前にさらにゲストとしてcobaを迎えて共演したら、今までにない表現をしている自分たちがいて。それなら3人でユニットを作ってこのエネルギッシュなコンサートが続けてみよう、と始まったのが「TFC55」です。好評をいただいて今年でツアー 4年目 (レベルIV) になります。

■ このコンサートの見どころは？

東) ジャンルの違うもの同士が刺激し合って生まれる新しい感覚が一番の魅力。とにかく来れば楽しめるし、最後は立ち上がって手拍子して飛び跳ねちゃうコンサートです。カテゴリーに関係なく音楽は楽しめることが伝わるといいますし、若い世代から年

配の方まで幅広く無条件に楽しめるコンサートだと思います。僕らは3人も今年で58歳だから大人な感覚のコンサートになる部分もあるし、逆にこういう歳でも無邪気に弾けることもできる、本当に楽しいコンサートなんです。

古) 僕ら3人は強力な個性を持ちながらも「僕らにしかできないこと」をしたいと思います。それはお互いを分かり合うというより、むしろ自分が一番 (笑)。もういい歳だけど、この二人には負けたくないし「去年よりうまいじゃん、コイツ！」って言われたい。僕はいろんな方とセッションしますが、プロフィールには「TFC55のメンバー」と書きます。クラシックだけじゃなく、ポップス、ロック、ラテン、いろんなジャンルでぶつかり合える最高のユニットですね。バンドメンバーもすごく優秀で、大人のいい音

楽をやってくれます。汗をかいて盛り上がり、最後には「今日は肩こりが治ったわ」と帰ってもらえるような (笑)、大人が楽しめる音楽会を作りたいと思っています。

■ ヴァイオリン、アコーディオンに雅楽の組み合わせは珍しいですね。

古) 雅楽って一般の人が触れることがなかなか無いもの。そんな日本の古い楽器と、西洋のヴァイオリンという楽器が共演することになるとは思ってもいませんでした。東儀くんのような人が現代にいるからこそできることです。例えばバロックなど、昔のクラシック音楽を再現しようとする時、譜面はあるけれど音源は残っていません。ところが、雅楽は1,000年の時を遡って当時の楽譜どおりを再現できる。貴重



TFC55 過去の公演より

中の貴重ですね。

東) 絶滅危惧種みたいな言い方されていますけど(笑)。確かに雅楽は、録音がなくても表現を変えずに継承できる…先生と生徒が楽器を使わず「口伝」というやり方で伝えるんです。最初はメロディを口ずさむことを何百回も何千回も続けます。楽器から入ると、変な吹き方や弾き方など余計なところに意識が向いてがむしやらになってしまいますが、時間をかけて「うたごころ」を学ぶことで、あとで楽器を手にしたとき、「やりたい」ことが心に入っているから、求めている音楽へ自然と寄り添っていけるんです。

古) 歌って覚える、と聞いて「なるほど」と思いました。僕らは、楽器を手にするところから始めるから「音楽は心だ」と学んでも、「弾けないから練習しなきゃ」と悪循環に陥ってしまう。「心で音を奏でる」ということの大切さに気付いていた人が大昔にちゃんといたんだと感動しますね。それに、彼と出会って一番驚いたのが「ロングトーン」という奏法。何を考えながらやればいんだらうとか、別のことを考えてしまいがちなのを、彼が目前で見せてくれた時「これこそがロングトーンだな」と。気持ち良く、大海原を見つめて広がっていくような世界観・宇宙観、「楽器と人間と宇宙が融合する感覚」を肌で感じられた

んです。本当に勉強になりましたね。

■お二人が人生を楽しむ秘訣を教えてください。

古) 僕は子供の頃から辛くて厳しい訓練ばかりしてきたけど、東儀くん「楽しめ、楽しめ」と教えられて、だんだん変わりました。音楽は「音を楽しむ」と分かってはいたけれど、そうしてこなかったの。そういう意味では、すごく幸せにしてもらいましたね。還暦前にして割と最近気づきまして…遅ればせながらのデビューです(笑)。

東) 最近気づいたんですよ、この人!間に合ってた良かった(笑)。教えたつもりなんかありませんけど、様子を感じ取ったんだと思います。僕は努力しようと思ったことがない。ピアノやギターも弾くし、ドラムも叩きますが、自己流で楽しんできただけなんです。ライブでも弾いたりします。そんな風に楽しんでいる僕がいて…

古) かたや、ヴァイオリンしかできない僕がいる。他の楽器なんてやりたいと思ったことがない。でも、いろんな生き方をしてきた人たちが同じステージで音楽をやるから面白いですよ。以前は、体が痛いか出掛けるのがおっくうだとか考えていましたけど、今はみんなと一緒にステージに立つこと、こういう時間を音楽の仲間と過ごすことを心から楽しんでます。残りの50年は、楽しく過ごしたいです(笑)。



東) 僕は、やりたいことは何でも怖がらずにやってしまう性格。何があっても驚かないし、トラブルがあっても、「どうにかなるさ」ってどこかで思っています。一見、古澤さんがワイルドで、僕がすごく神経質そうに見られますけど、実は真逆ですよ。僕は一番前も、楽屋で「お香を炊いて静かに瞑想」なんてしません(笑)。練習という練習はしないし、本番10秒前までスタッフにちょっかいをかけて大笑いしています。逆に、ぎりぎりまで静かに集中しているのは古澤さん。cobaも本番直前まで楽屋ですつとガンガン弾いています(笑)。



■これからのこと…将来の夢や目標はありますか？

東) 何も考えていません。目標を決めず、出会ったことに夢中になりたいです。

古) 僕は常に目標があります。毎日練習しているのは、ヒール&トウ(車の運転技術)…。あつ、音楽のこと…もちろん、ヴァイオリンの演奏技術を極めるべく色々と考えていますよ(笑)。

■浜松のファンの皆様にメッセージを。

東) 何も考えないで楽しみに来てください!

古) ホールでしか生まれないライブ感CDを聴くのと全然違います。汗だくになっても良い格好で、体を動かさしにぜひホールへいらしてくださいね。



©Ayako Yamamoto

東儀秀樹 とうぎ ひでき

東儀家は1300年間雅楽を世襲してきた楽家。宮内庁楽部在籍中は、華樂を主に、琵琶、太鼓類、歌、舞、チェロを担当。宮中儀式や皇居において行われる雅楽演奏会などに出演する他、海外での公演にも参加、日本の伝統文化の紹介と国際親善の役割の一翼を担ってきた。現在は様々なジャンルとコラボレーションし、雅楽の持ち味を生かした独自の創作や表現に情熱を傾ける。
(<http://www.togihideki.net/>)



©Nobuyuki Aoki

古澤 巖 ふるさわ いわお

59年東京生まれ、3歳からヴァイオリンを始める。82年小澤征爾の招待で、夢のタングルウッド音楽祭のコンサートマスターを務める。83年文化庁給費留学生としてカーチス音楽院に特別編入。チェリビダツケ、パーンスタインに音楽の両極を学ぶ。86年葉加瀬太郎とジブシーバンドを結成、ヴァイオリニストとしての道を歩み始め、現在に至る。12月にはベルリンフィルメンバーとの全国ツアーを予定。(http://hats.jp/p/)

東儀秀樹×古澤 巖×coba
全国ツアー2017 TFC55 LEVEL IV

2017年9月29日(金) 19:00開演

●アクティブ浜松 中ホール

●全席指定

S席7,000円 A席5,000円

学生席1,000円(当日指定・24歳以下・当日学生証提示)



ピアニスト
小川典子
インタビュー
Norika Ogawa



2月28日 ヤマハ銀座 ヤマハホールにて 取材・森岡葉／写真・武藤章

©A.Muto

7月5日、アクトシティ浜松大ホールで、第10回浜松国際ピアノコンクールの審査委員長に就任した小川典子さんが、気鋭の指揮者、ミハエル・ザンデルリンクさん率いるドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団との協演でベートーヴェン《ピアノ協奏曲第5番「皇帝」》を披露します。イギリスと日本を拠点に多彩な演奏活動を繰り広げている小川さんに、審査委員長としての抱負、ピアニストを目指す若者たちへの想いを語っていただきました。

■2018年秋に開催される第10回浜松国際ピアノコンクールの審査委員長に就任されました。

世界的に高い評価を得ているコンクールの審査委員長という大役を光栄に思うとともに、身の引き締まる思いがしています。第9回のコンクールを聴かせていただき、本選に残ったコンテストたちが最後まで疲れを見せず、生き生きと演奏していることに感動しました。これは運営体制がしっかりしているからだと思います。世界各地で国際コンクールの審査員を務めています。このようなコンクールはなかなかありません。練習ピアノが用意されていなかったり、リハーサルの時間が違ったり、ちょっとしたトラブルが積み重なってコンテストたちは動揺し、疲れ切って実力を発揮できないことがよくあります。浜松では、すべてのコンテストが安心して練習に励み、自分の演奏に集中していました。これは素晴らしいことだと思います。

■審査委員長として、さらにどんなコンクールにしたいとお考えでしょうか？

審査委員長としての私の野心は、入賞者たちをこのコンクールから直接世界に羽ばたかせたいということです。これまでの入賞者はその後、ショパン・コンクール、チャイコフスキー・コンクールなど大きな国際コンクールで優勝し、世界的な活躍の場を得てきましたが、ほかのコンクールに参加しなくても彼らが離陸できるように、入賞者のためのコンサートをたくさん用意したいと考えています。私はリーズ国際コンクールに入賞して、ピアニストとしてのキャリアをスタートすることができました。そんな思いから、浜松からピアニストたちを世界に送り出したいと思うのです。

■コンクールの内容に変化はあるのでしょうか？

課題曲や日程など基本的な内容に大きな変更はないでしょう。課題曲の量を増やしているコンクールもありますが、私は浜松の課題曲の量や内容はちょうどよいと思っています。第3次予選のモーツァルトの室内楽も、ピアニストとしての真価が試される素晴らしい課題だと思うので、引き続き入れたいと思います。最近のコンクールはDVD審査で参加人数を30名以下に絞り込んでいるところが多いですが、浜松には100名のコンテストが参加できます。練習施設も整っていて、様々な意味でキャパシティがあるのは、「音楽のまち」浜松ならではのですね。市民ボランティアの方たちも温かくコンテストたちをサポートし、予選を通過できなかった人たちのホーム・ステイを引き受け、市内で様々なコンサートを企画してくださっています。コンクールの結果は、そのときの審査員の好みもあるので思い通りにならないこともあります。ピアニストを目指す若者たちがここで何かをつかみ、将来につなげることができればいいですね。

■ロンドンで暮らすようになってどのくらい経つのでしょうか？

1987年にリーズ国際コンクールに入賞し、その直後から演奏会の依頼をたくさんいただき、そのままロンドンで暮らすようになったので、ちょうど30年になります。水が合ったと言うのでしょうか。イギリス人は冷たく見えますが、実はとても懐が深いのです。彼らに受け入れられ、ピアニストとしての第一歩をイギリスで踏み出すことができてよかったと思います。でも、最初の頃は与えられた演奏会をこなすのに必死でした。コンクールの入賞は、演奏活動を始めるきっかけに過ぎません。そこからが本当の勝負です。プロの世界の厳しさを痛感しながら、鍛えられ



© A.Muto

ました。イギリスのピアニストたちは、洗練された個人主義の持ち主で、けっして他人に弱みを見せず、泣き言を言わず、自分自身で道を切り拓き、やりたいことを着実に実現しています。私は音楽家としての姿勢を彼らから学び、今でも常に影響を受け続けています。

■世界中を飛び回って演奏、指導、コンクールの審査など、お忙しいですね。

月に最低1回は日本に戻り、そのほかの国にも行きますから、いつも時差ボケという状態です(笑)。私ほど移動の多いピアニストは、あまりいないかもしれません。

■タフさの秘訣は何でしょうか？

幸い私は胃腸が丈夫なので何とかなっているようです。一番大変なのは、やはり練習時間の捻出です。飛行機に乗っている時間の方が練習時間より長い

こともありますから……。以前は、飛行機の中で本を読んだり、楽譜を読んだり、文章を書いたり、積極的に時間を使っていたのですが、最近は後で疲れが出て、回復に時間がかかってしまうので、あまり無理をせず、ゆったりと過ごすようになりました。自分の体力の限界を知ること大切ですね。

■後進の指導にも力を入れていらっしゃいます。

ロンドンのギルドホール音楽院と東京音楽大学で教えていますが、ピアニストを目指す若い人たちに伝えたいのは、作曲家が心を込めて書いた楽譜に真剣に向き合い、そこから読み取ったものを自分なりのストーリーにして聴く人に伝えることがピアニストの務めだということです。テクニックは、そのために磨くべきものなのです。個性を打ち出し、聴く人を感動させる表現をするにはどうしたらよいかを一緒に考えたいと思っています。

■自閉症児の家族を支援する「ジェイミーのコンサート」など、音楽と社会を結びつける活動にも積極的に取り組んでいらっしゃいます。

ロンドンの下宿先で、尊く強烈な個性を持つ自閉症の少年、ジェイミーと暮らした経験から、私に何かできることはないかと考え、障がいのあるお子さんとその家族の方たちが音楽を楽しみ、心をリフレッシュしてお子さんと接していただければいいなど企画したのが「ジェイミーのコンサート」です。10数年活動を続け、今年6月、アンケート調査をもとに学術調査研究・結果発表会がギルドホール音楽院で開催されます。イギリスの自閉症協会も音楽の果たす役割を重視するようになり、活動が新たな段階に入ったと感じています。

■7月5日、審査委員長就任記念演奏会として、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団とベートーヴェン《ピアノ協奏曲第5番「皇帝」》を演奏されます。

第9回のコンクールの本選をアクトシティ浜松大ホールで聴かせていただき、浜松の皆さんがコンテスタントたちを心から応援していることを肌で感じました。同じホールで、皆さんにご挨拶できることをうれしく思っています。まるでコンクールの本選に飛び入りで参加するような気持ちです。

「皇帝」はベートーヴェンのコンチェルトの中で最も壮大で華麗な作品。第2楽章の美しさも際立っています。ドイツの名門オーケストラとこの作品を演奏するのは、とても楽しみです。

■浜松のお客様にメッセージをお願いします。

一生懸命練習して行きますから、たくさんの方に聴いていただきたいと思います。そして、浜松で私を見かけたら、ぜひ気軽に声をかけてください！



© A.Muto

小川 典子 おがわのりこ
英国と日本を拠点に世界各国へ演奏旅行を行う他、国際コンクール審査、マスタークラスなど広範囲な活動を展開中。北欧最大のレーベル BIS より33枚のCDをリリース。
2015年はロシアでサント・ペテルブルク響との共演や、様々な音楽祭へ出演。2016年はモスクワ国立交響楽団、BBC交響楽団と共演やシンガポール演奏旅行、日本音楽コンクール、シドニー国際、モトラム国際コンクールの審査の他、7月には生誕150周年サティ・ピアノ曲集のCDもリリースされた。
2016年2月より、第10回浜松国際ピアノコンクール(2018年)審査委員長に就任。
英ギルドホール音楽院教授、東京音楽大学特任教授、ミュンヘン・ザクセンホールアドバイザー、「ジェイミーのコンサート」主宰NAS英国自閉症協会文化大使。
<http://www.norikoogawa.com/>

第10回浜松国際ピアノコンクール審査委員長就任記念
小川典子(ピアノ)&
ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団

2017年7月5日(水) 19:00
●アクトシティ浜松 大ホール
●全席指定
S席12,000円 A席9,000円 B席6,000円
学生席1,000円(24歳以下・当日指定)
※未就学児の入場不可

●曲目:ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」
(ピアノ:小川典子)
ブラームス/交響曲 第1番(ほか)
●お問合せ:文化事業課
TEL.053-451-1114



博物館の新たな社会的役割

浜松市楽器博物館館長 嶋 和彦

このコラムの第1回目に、次のようなことを書きました。

——— 英語のMUSEUMは、なぜか日本で「美術館」と「博物館」。

…「博物館行き」という言葉があるのをご存知だと思うが、これはいい意味では使われない。「お前も博物館行きだな」なんて言われれば、それは「お前はもう役立たず、用足らずだから第一線を退きなさい」という意味。品物でも「古くてもう使えない」ということを意味する。…本来ミュージアムは、ミュージズの住む館という意味である。ミュージズとはギリシア神話の学問や芸術を司る女神たちのこと。ミュージック（音楽）の語源でもある。だから、そこには目に見えない、学問と芸術の精神が存在しないとイケない。単なる物体の倉庫ではないのだ。展示室には、絵画や彫刻、生活用品など、目に見えて形のある物体しか通常は展示できないけれど、それよりも大切なのは、その物体の奥に潜む精神性、意味である。物体を通して、作者、社会、時代の精神を伝承して行くことこそ大切なのだ。———

（目に見える）物体の奥に潜む精神性や意味。これは、近年とても重視されてきています。もちろん、これまででも尊重されていたのですが、世界が物質文化や拝金主義に傾き、心の荒蕪が顕在化して

きた時、無形のもの、目に見えないものの大切さがよりクローズアップされてきたのです。ユネスコの世界自然遺産や文化遺産、中でも無形遺産の指定が、それに拍車をかけました。自然の景観や人工の建造物のみならず、音楽や踊り、祭りの精神など、目に見えないものが持つ価値を、一般市民も強く意識するようになったのです。富士山が世界自然遺産ではなく文化遺産として位置づけられたのは、とても意味のあることでしょう。自然や物との人間の関わり、営みが重要だということです。

このような世界的動向の中で、博物館には今大きな役割が期待されるようになりました。それは、博物館が物の倉庫になるのではなく、その地域の「文化という景観」を形成する中心にならなければならないという役割です。博物館は本来「ミュージズの住む精神的な館」ですが、いつしか物にあふ



れ物の外面について研究することに重点が置かれ過ぎました。悪く言えば、古物、古道具の倉庫になってしまい、それを作り使っていた人々の営みや精神が忘れられてしまったのです。それではいけない、物の奥に潜む精神性や意味の価値こそが人間を力づけるということに気づくべきだ、となったわけです。日本でも、東日本大震災で被災した多くの人々が心の拠り所にしたのは、東北の村々に伝わるお祭りや神楽であったことが、如実にそれを物語っています。

さらに博物館は、建物という場所と、物という遺産がありますから、様々な物とそこに潜む意味をつなぎ合わせて、人々の幸せのために新たな価値観や文化を作っていくべき、との指針が、ユネスコや国際博物館会議などで提唱されることになりました。博物館は社会に貢献しなければいけないのだという意識が強く主張されるようになったのです。博物館や美術館は不要ではなく必要かつ重要であるということです。学芸員をはじめ博物館で働くスタッフは、あまねくこのことを肝に銘じて職務に励むことが大切です。博物館を所有する自治体や財団、個人も言わずもがなですね。

最後に楽器博物館の特徴、それは「楽器」という目に見える物体の美しさや面白さを楽しめると

もに、その奥に潜む「目に見えない音や音楽」という無形の文化遺産を楽しみ、思いを馳せ、生きるエネルギーをもらえるということでしょう。

ですから、浜松市楽器博物館には、ユネスコ音楽創造都市浜松の文化的景観を形作り、様々な文化を結びつけ、社会に貢献する、という大きな使命があるのです。



浜松市楽器博物館

開館時間 9:30-17:00

休館日 毎月第2・4水曜日(祝日の場合は翌日、8月は無休)
12/29-1/3、施設点検等の日

観覧料 大人800円 高校生400円

中学生以下・70歳以上・障害者無料

TEL.053-451-1128 HP <http://www.gakkihaku.jp>



Okura
ACT CITY HOTEL
HAMAMATSU

オークラアクティシティホテル浜松

Okura Act City Hotel Hamamatsu



ホテルクラウンパレス浜松

Hotel Crown Palais Hamamatsu



和食堂 山里「昼会席」3,800円(税金・サービス料含む)

オークラアクティシティホテル浜松 31階和食堂「山里」では、会席料理や天ぷら・お造りなどの“旬”の素材を活かしたお料理をご用意しております。今回ご紹介するのは、6月の「水無月昼会席」。焼き物は“鮎一干”に、カリカリとした食感が楽しめる“骨せんべい”を添えて。煮物には“穴子旨煮”や“新牛蒡”など旬の食材をふんだんに使用しております。また、由比産の桜海老のかき揚げを追加(700円)することもできます。尚、昼会席は季節に合わせて毎月毎に内容が変わります。

山里の日本料理をお楽しみいただきながら、ご家族やご友人とのひとときを、ごゆっくりお過ごしください。



オークラアクティシティホテル浜松31階
和食堂「山里」

和食堂「山里」

浜松市中区板屋町 111-2 オークラアクティシティホテル浜松 31階
【営業時間】 11:30 ~ 14:00(土・日・祝 11:30 ~ 14:30)
17:30 ~ 21:00
【ご予約・お問い合わせ】 レストラン予約受付(9:00 ~ 20:00)
053-458-1233

※写真はイメージです。



ランチ/お一人様 5,000円(税込) ~、ディナー/お一人様 10,000円(税込) ~

JR浜松駅前のホテルクラウンパレス浜松では、2階「日本料理 四季」の一角にオープンした鉄板焼きコーナーが2周年を迎えました。落ち着いた雰囲気のある7席のカウンターで味わうステーキは絶品で、知る人ぞ知る隠れ家スポットとして今話題となっております。黒毛和牛サーロインまたはフィレが、ランチのコースで5,000円~、ディナーは10,000円~にてお召上がり頂くことができます。

2か月毎にテーマが変わる期間限定メニューのシェフズテーブルも一皿一皿、ソースや盛付けにこだわった他の鉄板焼きでは味わうことが出来ないこだわりのコース。人気があり席数に限りがございますので、ご来店の際は必ずご予約をお願い致します。

日本料理 四季 鉄板焼きコーナー

浜松市中区板屋町 110-17 ホテルクラウンパレス浜松 2階
TEL.053-452-4651
【営業時間】 ラunch/ 11:30 ~ 14:30 (ラストオーダー 14:00) ディナー/ 17:30 ~ 21:30 (ラストオーダー 20:30)
【定休日】 毎週月曜日 ※祝祭日は営業致します。



ホテルクラウンパレス浜松2階
日本料理 四季
鉄板焼きコーナー



おばんざいセット(3種)1,500円(税抜)。ワンドリンク付きでお得です。



バル/029 盛り合わせメニュー 2,500円(税抜)。マカロニサラダ 800円(税抜)。

おばんざいえん

2016年10月に開店した「おばんざいえん」。もともと現在の店舗の2階で保育所を運営していた女将の山下さんが子どもたちに栄養に配慮した食事を提供していたところ、1階店舗が空いたことをきっかけにオープンしました。身体にやさしい家庭的なおばんざいは大人にも好評。今年からはランチ営業も始めました。

お店に入るとすぐに目に入るのは、カウンターにいくつも並んだ大皿料理。仕入れの状況によって毎日変わるさまざまなおばんざいを楽しむことができます。好きなおばんざいを選んで楽しむ「おばんざいセット」もあるので、その日の気分で頼んでみては。地元のレストランさんから仕入れたお酒は静岡県を中心に取り揃え、種類も豊富です。

使用する野菜や調味料、店内の装飾に至るまで地産地消というのがこだわり。天竜杉一枚板を使用した立派なカウンターテーブル、おばんざいが並ぶ木材板、カウンターの奥に飾られた絵画、料理を彩る器まで、すべて山下さんとご縁のある浜松の方々によるものです。「私のお店」という感じではなく、皆様とご縁があったからできたお店」という山下さん。その思いは「えん」というお店の名前にも表れています。今後はお店を拠点にいろいろなことを発信し、人と人との縁を結び場でありたいということでした。

コンサートを楽しんだ高揚感そのままに、「おばんざいえん」に立ち寄れば、人や芸術との新たなご縁に出会えるかもしれません。女将の明るい笑顔と美味しいおばんざいで皆様をお待ちしております。



女将の山下 晶子さん

お休みの日にはお子さんの時間を大切にしている山下さん。近くの公園で散歩をしたり、パーベキューをしたりと、自然と触れ合って「生きる力」を培ってほしいということでした。きっとお子さんの笑顔が山下さんの元気の源なのですね。



おばんざいえん

浜松市中区千歳町102
クラシビル1階
TEL.053-456-7370

【営業時間】

月～木曜日 11:00～23:00
金曜日 11:00～翌1:00
土曜日 16:00～翌1:00
【定休日】 日曜日

GRILL BAR バル/029 ～ゼロニーキュウ(オニク)～

ザザシティ中央館の1階にお店を構えて3年目になる『GRILL BAR バル/029』。牛・豚・鶏のグリルと、20種類以上のタパス(小皿料理)をカジュアルに楽しめる「グリルダイニング×バル×カフェ」という新しいスタイルのお店です。

店内に入ると目を引くのは、こだわりの流木シャンデリアと、牛などのお肉にまつわる可愛いインテリア。カウンター越しにキッチンでの調理を眺められるのも魅力です。開放的なテラス席は28席あり、ペット同伴も可能。愛犬と一緒にカフェタイムを過ごすのも素敵ですね。ランチメニューはカレーやハンバーグなど、リーズナブルにお肉を味わえます。

夜オススメなのは何と言っても看板メニューの肉グリル。牛肉は脂の少ないOGビーフを使用。いろいろな部位を味わえます。コース料理だけでなく単品料理も多数あるので、予算やシーンに合わせて、いろいろな楽しみ方をしては。アルコールの種類も豊富で、お肉料理に合う赤ワインは特に充実しています。アルコールが苦手な方にも飲みやすい、甘くてフルーティな自家製サンギリアも人気です。

6月からは暑い季節に嬉しいビアガーデンも始まるそう。仲間と陽気に盛り上がるのにぴったりな『バル/029』。是非気の合う方を誘って、気軽に訪れてみてください。



店長の真瀬 えりなさん

「人と接する事が好き」と、素敵な笑顔で語ってくださった店長の真瀬さん。お店ではアップテンポな曲をBGMにして、元気に動き回っているようですが、プライベートではゆったりした音楽をお好みののだとか。休日には趣味のお菓子作りや手芸をして、リフレッシュされているそうです。

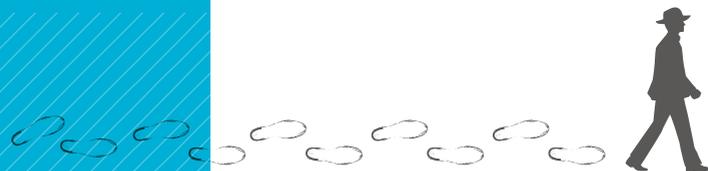


GRILL BAR バル/029

浜松市中区鍛冶町100-1 ZAZA中央館1階
TEL.053-489-3029

【営業時間】

月/ 17:00～24:00(LO23:00)
火～金・祝前日/ 11:30～15:00(LO14:00)
17:00～24:00(LO23:00)
土/ 11:30～16:00(LO15:00)・17:00～25:00(LO24:00)
日/ 11:30～16:00(LO15:00)・17:00～22:00(LO21:00)
祝日/ 11:30～16:00(LO15:00)・17:00～24:00(LO23:00)
【定休日】 月曜のランチのみ休業。
(月曜が祝日の場合はランチ営業、翌火曜のランチが休業)



【和楽器】

和楽器とは、日本で古代から使われてきた伝統的な楽器です。

「和楽器」とひとくくりに言ってもさまざまな種類がありますが、中でも今回は「箏」と「笙」について取り上げてみたいと思います。

まず始めに、箏（ひちりき）ですが、この楽器は竹で作られており、本体の長さは約18cm、表側に7つ、裏側に2つの指穴が開いている縦笛です。また、本体には細い紐状にした桜の木の皮が巻き付けられ、漆で仕上げられています。箏は他の楽器と比べると小さな楽器ですが、小さいながらも大きな音が出ます。音域は、ソ(G)から1オクターブ上のラ(A)までが基本です。箏には響きの良い音色と音程が求められます。音程には寺院の鐘の音が使われていますが、京都の妙心寺、知恩院の梵鐘の音と決められています。

箏は雅楽を演奏する上では最も重要な楽器の一つ。「雅楽」とは、朝鮮半島や中国大陸から来た音楽が日本の古い歌や舞に加わって融合、日本化した音楽で、世界で最も古いオーケストラと言われています。その中で、主に主旋律を担当しているのが箏で、雅楽では欠かせない楽器です。

次に笙（しょう）ですが、この楽器は17本の竹をまとめた形をしており、17本の竹管のうち15本の内部に音が出る仕組みとなる金属性のリードが取り付け



箏（ひちりき）

笙（しょう）

あります。残りの2本の竹管にはそれがなく、演奏ではあまり使用しないようです。また、笙はとても繊細な楽器で、特に湿気に弱いので少しでも水分に触れてしまうと音が鳴りにくく、場合によっては音が鳴らない事もあるそうです。息を吸ったり吹いたりすることでそのリードが振動し、音に変化をもたらします。和音を響かせるのが特長で、他の楽器を包み込む役割を果たしています。

さて、今年の9月末には日本を代表する雅楽師の東儀秀樹さんとヴァイオリニストの古澤巖さん、アコーディオニストのcobaさんによる全国ツアー「TFC55 レベルIV」がアクティシティ浜松中ホールで行われます。彼らが奏でる音楽は様々な音色とリズムが自在に操られ、豊かな感性と技術で人々の心に感動を与えてくれるでしょう。

ぜひ一度、彼らの世界観に浸ってみてはいかがでしょうか。

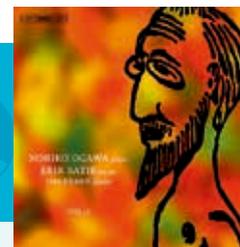
[3F 鍵盤・弦楽器売場] 仁木 義貴



ヤマハミュージックリテイリング 浜松店

10時30分～19時 [定休日] 水曜日
〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町321-6
[2F 楽譜・CD売場] TEL.053-454-4419
[3F 鍵盤・弦楽器売場] TEL.053-454-2770

店員さんに聞きました！ おすすめCDのご紹介



サティ：
ピアノ独奏曲全集第2
小川典子(ピアノ)
KKC-5719 ¥3,240 (税込)



ショスタコーヴィチ:交響曲第6番
ベートーヴェン:交響曲第6番「田園」
ザンデルリンク(指揮)
ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団
SICC-30255 ¥2,808 (税込)

1991年から始まった浜松国際ピアノコンクール。2018年節目の第10回において、審査員長に小川典子さんが就任されました。7月には、ミハエル・ザンデルリンク(指揮)と、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団と共に浜松にて演奏会を行います。

小川典子さんは英国と日本を拠点として活躍され、世界の主要オーケストラ・指揮者との共演や、室内楽、リサイタル等で世界各国へ演奏旅行を行う他、国際的なコンクールでの審査、各国でのマスタークラスなど、国際的で多彩な活動を展開しています。北欧最大のレーベルBISより30枚のCDをリリースされており、5月下旬にはエリック・サティのピアノ独奏曲全集の第2集も発売されました。「レコード芸術」特選盤を受賞した第1集より引き続き、奇抜なタイトルの作品も多く、聴き手の興味をかきたてるサティ独自の世界が、当時の響きを味わえる1890年製エラールによる演奏で楽しめる作品となっています。

7月に共演する指揮者ミハエル・ザンデルリンクとドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団は、昨年2月にベートーヴェンとショスタコーヴィチのそれぞれの交響曲第6番をカップリングしたアルバムを発売しました。「ベートーヴェンは西洋音楽の根幹の一つである交響曲を完成させ、ショスタコーヴィチは交響曲というジャンルの締めくくりを宣言した」というザンデルリンクの視点のもとに作られたこの作品は、伝統的かつ柔軟なサウンド作りをするドレスデン・フィルだからこそ組み合わせることができる世界だ、とザンデルリンクは語っています。

ベルリンに生まれたザンデルリンクは、幼い頃にチェロを学び、音楽の道を志しました。ライプツィヒ・グヴァントハウス管弦楽団のチェロのソリストに選ばれ、その後欧米各地の著名なオーケストラと共演しています。2001年より指揮者としての活動を始めるとすぐに頭角を現し、現在では同世代で最も人気の高い指揮者の一人と言われています。多くの一流オーケストラとの共演と、名高いドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団との非常に充実した芸術的共同作業により、指揮者としての国際的名声を獲得しました。

また、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団はドレスデンに初めてコンサートホールができた1870年に創立され、1世紀を超える歴史の中で、常に優れた首席指揮者を擁し、世界的名声を誇るソリストや客演指揮者たちと共演を重ねてきました。宮廷楽団を前身とし、貴族階級のために演奏を行ってきたシュターツカペレ・ドレスデン(ドレスデン国立歌劇場管弦楽団)とは異なり、ドレスデン・フィルは中流階級の市民の文化から生まれたオーケストラで、そのルーツは「ラーツ・ムジーク」という名の市民アンサンブルが結成された450年前に遡ります。

7月に行われるのは、まさにドイツ・プログラム。小川典子さんとの共演はベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」です。俊英ザンデルリンク率いる名門楽団ドレスデン・フィルと「浜松国際ピアノコンクール」審査委員長に就任された小川さんの記念すべき共演を、アクティシティ浜松大ホールでぜひ体感してください。

[2F 楽譜・CD売場] 長尾 真奈美

ちょっと気楽に もっと音楽を 05

「音楽をもっと気楽に楽しんでほしい、日々の生活に音楽を」というテーマで、近場で気楽に音楽を楽しめる素敵な場所をご紹介します。



取材日 / 4月24日 文・撮影 / (公財) 浜松市文化振興財団

この方に
伺いました！

みどり音楽企画
横田みどりさん



1962年 福岡生まれ
父の故郷鹿児島で育ち、幼いころから歌が大好き。
合唱や吹奏楽(クラリネット)で青春を過ごす。
看護師として就職後1ヶ月でご主人と出会い4年後に結婚。
1993年 浜松市浜北区にご主人が整形外科(代々続く医院の3代目)を開業。
以来25年間、看護師と経理・人事も担当。
1998年 Marechiare (マレキアーレ)完成。
2005年 みどり音楽企画設立。代表取締役として、自主公演だけでなく他ホールの公演プロデュースも行う。

マレキアーレ
Marechiare

“自分を解放するための場所”として

105年の歴史がある医院を主人が継いで今年で25年目。私はそこで看護師として働いています。そもそも、このマレキアーレを作ったのは、日々の現実を離れて自分を解放する場所が欲しかったから。学生時代から続けていた合唱を、周りを気にせず歌えて時には地域の音楽家たちが練習できたら、と強く希望して作らせてもらいました。医院の建て替えと並行して自宅を建築し、それと同時に開業。毎日必死で働きながらこのホールを構想し、1998年に完成しました。今思えばとんでもないエネルギーが要りましたが、若かったからできましたね。

横山幸雄さんとの出会い

マレキアーレを建てた翌年、以前からその演奏に魅力を感じていたピアニストの横山幸雄さんが浜松の駅ビルで演奏すると知りました。チケットを求めて主催者に電話した時、「ウチにもグランドピアノがあるんですよ！」と思わず言ってしまった…(笑)。そうしたら「ピアノをお借りできますか？」と、この場所を横山さんの練習のために4日間提供することになったんです。毎日送迎をして、練習風景を間近でずっと聴き続けた最終日の帰り道、「コンサートをやろう、ここで！」とご本人から申し出があって。本当に驚きましたが、これが『この空間は本格的な



コンサートができる会場になり得る。』と確信した瞬間です。そこからホールの湿度管理などを学び、主催者育成セミナー[※]も受講して「みどり音楽企画」を立ち上げました。横山さんとの付き合いはもう15年以上になりますが、定期的にご出演いただくなど、今でも良い関係を続けさせていただいています。
※浜松市アクトシティ音楽院主催。現在第17期が活動中。

ペダルの解放音も聴き取れ、 飛び散る汗も見える

ここは、小さいながらも本格的なホール設計で、雑音がありません。繊細な音や演奏者の息遣いをシャワーのように体感できる空間ですから、ピアノペダルの解放音も聴き取れるし、出演者が演奏する必死の形相、飛び散る汗も見えます。演奏者は「お客様と距離が近くて緊張するけど、逃げ場もない、ごまかしも利かない。でも楽しい！」と。ホントかな(笑)と思いますけど、嬉しいですね。お客様には、心を空っぽにして体全体で音楽を吸収しているような感動を味わってほしいですね。

クラシックから「日本の心」まで

ピアノ、ヴァイオリン、声楽などからパーカッション、ポジティブオルガン、津軽三味線、尺八など様々なコンサートをしています。緊張のあまり眠ってしまうお客様がいても、プロは気にせず最高の演奏をしてくれます。他のお客様がより一層真剣に聞いてくださって、一体感も生まれたり(笑)。ここ数年はクラシック公演に加えて「日本の心」と題した邦楽公演も。日本人の私が日本の音楽を説明できないようではいけない、学びたいと思ったからです。出演者には、演奏だけでなくトークやレクチャーもお願いしています。実は歌が好きな父の影響もあって、クラシックだけではなく民謡や演歌も大好きなんですよ。



公演の様子 津軽三味線 西はじめ〜KJJI〜&久保田祐司 (2016.12.18)

コンサートはドキドキ。 サプライズも！

浜松だけでなく、県内外から老若男女問わずお客様がいらっしゃいます。公演中のお話や質問、休憩中にはお茶やお菓子、演奏後には写真撮影やサイン会など、大きなホールでは考えられないほど演奏者と親しく交流できる場所です。みんなで歌って演奏者にサプライズをしたり、邦楽などでは着物着用の方にチケット代を割引したり、勉強のために聴きにくる高校生たちは、原則として無料でご招待しています。私の学生時代の経験上、普段の部活動にお金がかかることを知っているからです。

私の感性に従って、自由に

マレキアーレは会員制のホールではないため、常に赤字の運営ですが、だからこそ自分自身に自由でありたいですね。私が良いと思った上質で素晴らしい演奏そして音楽の喜びを、多くの方と分け合いたい。全ての素晴らしい音楽を敏感に聞き逃さぬよう、まずは自分の健康管理をきちんとし、新し

い演奏者を発掘していくことにも力を注ぎたいと思っています。

発想が浮かぶ「宝箱」

実はこのホール、アーティストがレコーディングやコンサート前に練習に来るんですよ。何度も通ってくださる方もいて…ご縁とはありがたいものですね。演奏家の姿勢を見つめていると、それぞれのお人柄や実力が垣間見えます。私にとって、今後の公演やプロデュースを考える発想が浮かぶ「宝箱」ですね。マレキアーレが演奏する人も聴く人にとっても、人生に何か良い影響のある、成長できる場所であれば、とも思うのです。

初めて訪れる方へ

ドキドキ感を楽しんでください。休憩時間にはお茶を飲んで、出演者とも交流できます。音楽仲間たちが集うアットホームな場所ですから、ぜひ気軽においでください。

上質な音楽空間のためのこだわり



ホール名の由来

イタリアの作曲家パオロ・トスティの「マーレ(海)キアーレ(輝く)」という曲の「月が昇ると魚でさえ恋に震える」という歌詞の一節が気に入ってここに名付けたのだそう。「幼いころ、大好きな海を見ながら歌ったことを思い出します」と横田さん。



空間を彩るお花と絵

毎回、色鮮やかなお花を飾ってコンサートを彩る。アーティストの衣装を引き立てるよういつも気遣っているそう。



2階の楽屋

演奏者には快適に過ごしてもらいたいと、シャワー室とベッドも用意。本棚には音楽関連の本やマンガ本も並ぶ。



壁面に並ぶソファ

コンサートでは、並べた椅子やソファでゆったりと座って聴くことができる。

コンサート情報

マレキアーレ・サマーコンサート 松本健司&岡田 奏 (クラリネットとピアノ)

2017年8月21日(月) 19:00開演
●入場料 3,000円(高校生以下 1,000円)
チケットは6月中旬より販売開始
(HP予約フォームあり)



Marechiare (マレキアーレ)

〒434-0042
静岡県浜松市浜北区小松4310-32
TEL.090-7049-1809

[HP] <http://www.midoriongaku.com/>

イベントスケジュール

2017.6 ▶ 2017.9



HCFオンラインショップ
http://www.hcf.or.jp/

HCFオンラインショップをぜひご利用ください。
様々な公演のチケットが、24時間オンラインで購入できます。

- ★システム利用料0円・発券手数料0円
- ★送料などの実費はかかりませんが、その他の手数料は一切なし。
- ★クレジット決済 / 送料315円(全国一律)
- ★代金引換 / 送料315円(全国一律) + 代引手数料315円(一律)
- ★スマートフォン・タブレットからもアクセスできます。
- ★直接アクトシティチケットセンター窓口にの購入(現金のみ)もできます。詳しくはHPをご覧ください。http://hcf.or.jp/

企画展 文と絵で伝える地域の歴史 井伊家と遠州の城砦

3.5(日)~6.25(日) 9:00~17:00

- 浜松文芸館(クリエート浜松5階)
- 入場無料
- 井伊家と遠州の城砦に視点をあて、残しておきたい「遠州の話」を歴史家小林佳弘氏の文と洋画家大須賀義明氏の絵画で紹介。
- 浜松文芸館 TEL.053-453-3933



アクト・ワンコインコンサート2017 金子三勇士(ピアノ)

6.8(木) 11:30(12:30終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円(チケットレス)
- ※当日会場入口にて入場料をお支払いください。
- ※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございますので予めご了承ください。
- ※未就学児の入場不可
- 曲目: ショパン/夜想曲 第20番 嬰ハ短調「遺作」
リスト/ラ・カンパネラ ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©Ayako Yamamoto

パレルモ・マッシモ劇場「椿姫」

6.14(水) 18:30

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定: S席 24,000円
S席 20,000円
A席 15,000円
B席 10,000円
C席 7,000円
シニア席10,000円(70歳以上・当日指定・S席相当)
学生席1,500円(24歳以下・当日指定)

※未就学児の入場不可

- 出演:
ヴィオレッタ: デジレ・ランカトーレ
アルフレード: アントニオ・ポーリ
ジェルモン: セバスティアン・カターナ
管弦楽: パレルモ・マッシモ劇場
管弦楽団・合唱団

- 文化事業課
TEL.053-451-1114 
- 特別協賛:  サラグループ



デジレ・ランカトーレ



パレルモ・マッシモ劇場



アントニオ・ポーリ

ACTS Premium Series アクト・プレミアム・シリーズ2017 ~世界の名演奏家たち~ Vol.1

諏訪内晶子(ヴァイオリン) & ボリス・ベレゾフスキー(ピアノ)

6.27(火) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定: S席 6,000円
A席 5,000円
学生席 1,000円(24歳以下・当日指定)
- プレミア・パスポート(全5公演通し券)
全席指定: S席 23,000円(完売)
A席 19,000円(完売)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
ベートーヴェン/ヴァイオリン・ソナタ第5番 へ長調 Op.24「春」
R.シュトラウス/ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 Op.18 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 
- 特別協賛:  オリックスグループ



©吉田民人



©Yuri Bogomaz

オルガンミニコンサート No.83

6.29(木) 12:30(12:50終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 入場無料
- ※小さなお子様も入場できます。
- オルガン: 英 貴子
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

企画展

「版画と小説でつづる井伊直虎公の物語」

7.2(日)~9.3(日) 9:00~17:00

- 浜松文芸館(クリエート浜松5階)
- 入場無料
- 直虎の半生を版画家熊谷光夫氏の版画と小説でつづるアートワーク展。
- 浜松文芸館 TEL.053-453-3933



New Artist Series アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.109 「陶山咲希(ファゴット)×儀賀詩織(サクソフォン) ×青木裕汰(トロンボーン)」

7.2(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由: 一般2,500円
学生1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目: ヴィヴァルディ/ファゴット協奏曲 ホ短調 RV484
マルタン/バラード ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 
- 協賛:  HAMANA
浜名館包装株式会社



陶山咲希



儀賀詩織



青木裕汰

第10回浜松国際ピアノコンクール審査委員長就任記念 小川典子(ピアノ) & ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団

7.5(水) 19:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席自由: S席 12,000円
A席 9,000円
B席 6,000円
学生席 1,000円(24歳以下・当日指定)

※未就学児の入場不可

- 曲目:
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」
(ピアノ: 小川典子)
ブラームス/交響曲 第1番 ほか
- 文化事業課
TEL.053-451-1114 
- 協賛:  サラグループ

※特集2(P8~11)もご覧下さい。



©Marco Borggreve



©S.Mitsuta

ゆるやかワークショップ 「お母さんと赤ちゃんのエクササイズ」

7.5(水) 10:30~11:30

- 浜北文化センター 多目的室
- 定員: 大人1人につき、3ヶ月以上1歳未満の親子ペアで30組
(要事前申し込み)
- 大人1人500円
赤ちゃんは無料
- 浜北文化センター
TEL.053-586-5151



レクチャーコンサート 「熱狂のホローボ~南米コロンビア平原の歌・楽器・ダンス~」

7.6(木) 19:00

- 楽器博物館 天空ホール
- 全席自由: 一般2,500円
学生(24歳以下)1,000円

※未就学児の入場不可

- 出演: シマロン
- 浜松市楽器博物館
TEL.053-451-1128



ゆるやかワークショップin天竜Vol.1
「お母さんと赤ちゃんのエクササイズ」

7.13(木) 10:30~11:30
●天竜壬生ホール リハーサル室
●定員:3ヶ月以上1歳未満の赤ちゃんとお母さんのペアで20組(要事前申し込み)
●大人1人500円(Tel・来館申込6/26~)
●天竜壬生ホール TEL.053-922-3301

歌舞伎プレセミナー
(天竜壬生ホールとアクトで開催)

7.14(金) 14:00 7.15(土) 14:00
●天竜壬生ホール ●アクトシティ浜松
●アクトシティ浜松
●コングレスセンター41会議室

●全席自由:500円
※未就学児の入場不可
●9月にアクトシティ浜松で開催される「松竹大歌舞伎」公演に先駆け、基礎知識や見どころを、古典芸能解説者・アナウンサーの葛西聖司さんが映像や資料を使って分かりやすく解説します。
●天竜公演:天竜壬生ホール TEL.053-922-3301
●アクト公演:文化事業課 TEL.053-451-1114



葛西聖司

夏の特別展「深海アドベンチャー」

7.15(土)~8.27(日) 9:30~17:00
(入場は16:30まで)
※7月18日(火)は休館日
●浜松科学館 ホール
●大人1,000円(800円)
中学生以下500円(300円)
※カック内は前売り料金、3歳以下は無料、再入場不可
※障害者および70歳以上は当日料金の半額
※常設展示とプラネタリウムは別料金
●浜松科学館 TEL.053-454-0178



ゆるやかコンサート夏
「トランペットとピアノとパーカッション」

7.18(火) 10:30~11:20
●浜北文化センター 小ホール
●対象:赤ちゃん、未就学児をお連れの保護者の方
大人のみでも構いません。
●高校生以上1人500円
子ども無料(同伴の0才~中学生)
●出演:松本真智子(トランペット)
新開あき子(ピアノ)
河辺智美(パーカッション)
●浜北文化センター
TEL.053-586-5151



APBDA2018
第20回記念アジア・太平洋吹奏楽大会 開催記念演奏会

7.22(土) 15:30
●アクトシティ浜松 大ホール
●全席自由:一般1,000円
高校生以下無料[要整理券・のみ]
※未就学児の入場不可
●出演:浜松市立開成中学校
静岡県立浜名高等学校
静岡県立浜松商業高等学校
浜松聖星高等学校
浜松市ユース選抜吹奏楽団
●文化事業課 TEL.053-451-1151



第12回はましんファミリーコンサート
~届け!スペインの香り~

7.23(日) 14:00
●アクトシティ浜松 中ホール
●指定席:1,500円(完売)
自由席:一般1,000円
高校生以下500円
※2歳以下の入場不可
●曲目:シャブリエ/狂詩曲「スペイン」
ビゼー/歌劇「カルメン」ハイライト
ほか
●文化事業課 TEL.053-451-1114



第23回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル

8.1(火) 18:30
●オープニングコンサート
●アクトシティ浜松 中ホール
●全席自由:一般3,500円
高校生以下1,500円
※未就学児の入場不可
●出演:
アカデミー講師 須川展也(サクソ)
ピーター・サリヴァン(トロンボーン)
ルカ・ヴィニャーリ(オーボエ) ほか



8.4(金) 19:00

●ソロコンサート
●アクトシティ浜松 音楽工房ホール
●全席自由:一般2,000円
高校生以下1,000円
※未就学児の入場不可
●出演:ヴェンツェル・フォックス
ジャン=イヴ・フルモー
クリストファー・オルカ



8.5(土) 18:00

●プレミアムコンサート
(講師推薦・選抜受講生による
ソロコンサート)
●アクトシティ浜松 音楽工房ホール
●入場無料(要整理券)
※未就学児の入場不可
●浜松市アクトシティ音楽院 TEL.053-451-1150



講演会「井上靖と浜松」

8.6(日) 13:30
●クリエート浜松 51会議室
●入場無料 ※未就学児の入場不可
●講師:和久田雅之
●浜松で過ごした井上靖の生活を、浜松を舞台にした作品とからめて紹介
●浜松文芸館 TEL.053-453-3933

~名匠木下恵介監督から中学生へ~(中学生優先企画)
「この子を残して」映画上映会(原爆パネル展同時開催)

8.6(日) 14:00 8.9(水) 14:00
●木下恵介記念館 アートホール(旧浜松銀行協会)
●中学生の入場料・映画鑑賞無料(身分証明書持参)
●「核廃絶、平和への祈りと愛」監督が込めた思いを、監督を知らない中学生に感じてもらうための特別企画。
●木下恵介記念館
TEL.053-457-3450



オルガンミニコンサート No.84

8.8(火) 14:00(14:30終演予定)
●アクトシティ浜松 中ホール
●入場無料 ※小さなお子様も入場できます。
●オルガン:中野ひかり ●ソプラノ:田島茂代
●文化事業課 TEL.053-451-1151

ブラスト!!ミュージック・オブ・ディズニー

8.10(木) 19:00
●アクトシティ浜松 大ホール
●全席指定:S席11,000円
A席9,000円
B席7,500円
※3歳未満入場不可(膝上鑑賞不可)
●文化事業課
TEL.053-451-1114
テレビ静岡事業部
TEL.054-261-7011



©Disney

ハノーファー市 交流演奏会

8.13(日) 14:00
●天竜壬生ホール
●入場無料(要整理券)
※7/2よりアクトシティチケットセンターほかにて配布
●浜松市と同じく2014年にユネスコ創造都市ネットワークに加盟したハノーファー市から「北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団」の弦楽器奏者を迎えて交流演奏会を行います。
●文化事業課 TEL.053-451-1151

50th
アクト・ワンコインコンサート2017
こどものためのワンコインコンサート 奥村愛(ヴァイオリン)

8.17(木) 11:30(12:30終演予定)
●アクトシティ浜松 中ホール
●全席自由:500円(チケットレス)
※当日会場入口にて入場料をお支払いください。
※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございますので予めご了承ください。
※未就学児の入場可(ただし3歳以上)
●曲目:
エルガー/愛の挨拶
ディズニー映画より ほか
●文化事業課 TEL.053-451-1114



©Wataru Nishida

太田市・浜松市 交流演奏会

8.20(日) 14:00
●アクトシティ浜松 大ホール ●入場無料(要整理券)
※7/2よりアクトシティチケットセンターにて配布
●群馬県太田市と浜松市、両市の公立オーケストラ・合唱団による交流演奏会です。
●文化事業課 TEL.053-451-1151

小学生のための楽器作りワークショップ
「小さな尺八「一節切(ひとよぎり)」を作って演奏しよう」

8.26(土) 13:30
●研修交流センター
●小学生500円(3~6年生)
15人(先着順)電話で事前申込
●講師:相良保之
●浜松市楽器博物館 TEL.053-451-1128



遠州和太鼓夏の陣2017

8.27(日) 13:30
●天竜壬生ホール
●全席自由:一般1,000円
高校生以下500円(Tel・来館申込6/13~)
●地元和太鼓団体・龍勢組と地域学校のコラボレーションによるコンサート
●天竜壬生ホール TEL.053-922-3301

野村萬斎監修 アクトシティ能・狂言
~「六地藏」「安達原」~

8.27(日) 15:00
●アクトシティ浜松 大ホール
●全席指定:S席6,500円
A席5,500円
学生席1,000円(24歳以下・当日指定)
※未就学児の入場不可
●演目:
狂言「六地藏」
能「安達原」
●文化事業課
TEL.053-451-1114



野村萬斎 観世善正

クリエイートの夏まつり

8.27(日) 11:00~17:30

- クリエイート浜松
- 昔なつかしい緑日を思い出させる、世代を越えて楽しめる夏まつり。射的・ヨーヨーすくい・食品販売などご家族でお楽しみいただけます。毎年恒例のさまざまな年齢層によるダンスパフォーマンス[MIXTA]も開催。
- クリエイート浜松 TEL.053-453-5311



ジュニアクワイア浜松 第23回定期演奏会 (浜松市・宝塚市 音楽文化都市交流事業)

9.3(日) 13:30

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円 ※4歳未満入場不可
- 出演:ジュニアクワイア浜松 宝塚少年少女合唱団
- 曲目:ひびかせうた/信長貴富 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1151



妊婦とお母さんのための ゆるやかコンサート in天竜 Vol.1

9.7(木) 10:30~11:20

- 天竜壬生ホール
- 対象:赤ちゃん、未就学児をお連れの保護者の方。大人のみでも構いません。
- 高校生以上 1人500円(Tel・来館申込7/18~)
- 出演:田上知穂(ソプラノ)、山村妙子(ヴァイオリン)、山下絃子(ピアノ)
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301

ジュニアオーケストラ浜松 第23回定期演奏会

9.10(日) 13:30

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円 ※4歳未満入場不可
- 曲目:幻想交響曲/ベルリオーズ ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1151



松竹大歌舞伎

9.23(土・祝) 昼の部13:00/夜の部17:30

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定: 一等席6,500円 二等席5,500円 夜の部見席2,000円(当日指定) 学生席1,000円(24歳以下・当日指定)
- ※未就学児の入場不可
- 演目:「猩々」「口上」「熊谷陣屋」
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©松竹

New Artist Series アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.110 「奥田 弦 ジャズピアノ・リサイタル」

9.24(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:一般2,500円 学生1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:チュニジアの夜(アレンジ:奥田弦) W.A.モーツァルト/トルコ行進曲(アレンジ:奥田弦) ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- 協賛: HAMANA 浜名商包輸送株式会社



オルガンミニコンサート No.85

9.28(木) 12:30(12:50終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 入場無料 ※小さなお子様も入場できます。
- オルガン:本田ひまわり
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

東儀秀樹×古澤 巖×coba 全国ツアー2017 TFC55 LEVEL IV

9.29(金) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定:S席7,000円 A席5,000円 学生席1,000円(24歳以下・当日指定)
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- 協賛:Salu サラグループ



東儀秀樹 ©Ayako Yamamoto 古澤 巖 ©Nobuyuki Aoki coba

※特集1(P4~7)もご覧下さい。

チケット販売所 アクトシティチケットセンター HCFオンラインショップ http://www.hcf.or.jp/ チケットぴあ この情報は2017年5月15日現在のものです。都合により日時、金額など変更になる場合もございますのであらかじめご了承ください。



アクトシティ浜松友の会

vivace club

新規会員募集中!

アクトシティ浜松を中心に繰り広げられる芸術を皆さまにより身近なものとしていただけるよう発足したのが、アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」です。世界中から集まる一流のアーティスト、エンターテナーが創り出す感動のステージをお楽しみください。

選べる2つのコース

一般会員

クレジット会員



●年会費 2,000円

・チケットはアクトシティチケットセンターへご来館の上、現金払いでお引替え。



●年会費 3,000円

・代金はクレジット決済。
・チケットはご自宅まで郵送でお届けします。

会員特典

- ◎電話、インターネット(HCFオンラインショップ)でチケット予約(お席を選ぶことができます)
- ◎一般発売前にチケットの優先販売
- ◎財団の指定する公演は、会員お1人様1枚に限りチケット代10%割引
- ◎文化情報誌及び公演チラシの郵送
- ◎浜松市楽器博物館入館料・浜松科学館入館料 20%割引
- ◎オークラホテル・アクトシティ内店舗の利用サービス
- ◎チケットはご自宅まで郵送します(無料)。代金はクレジットカードにて決済させていただきます。クレジット会員のみ

※特典の内容については随時改正を行ってまいります。

アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」事務局

TEL:053-451-1115 FAX:053-451-1123 MAIL:vivace@actcity.jp
受付時間:平日・土日祝とも10:00~17:00(年末年始及び休館日は除く)

友の会会員様も会員でない方もどなたでもご利用いただけます!

HCFオンラインショップが

スマートフォン・タブレットに対応しました!

HCFオンラインショップ 検索

こんにちは!!
天竜壬生ホールです



平成29年4月から、(公財)浜松市文化振興財団は浜松市天竜壬生ホールの指定管理者となりました。施設のご紹介とスタッフからのメッセージをお届けします。

施設紹介

ホール



客席数507席。天竜杉を使用したホールは木の香りでいっぱい。

野外ステージ



リハーサル室の大きな扉を開くと、階段を座席に見立てた野外ステージに!

リハーサル室



利用率ナンバーワンというリハーサル室は、普段の練習はもちろん小さなコンサートにもぴったり。

ホワイエ



一面ガラス張りのホワイエは暖かな日差しが降り注ぎます。

会議室



講座や会合などで利用できる会議室は飲食可。窓の外にある桜の木が一番よく見えるスポットなのだとか。

施設スタッフから

島田 これまではアクトシティ浜松で施設管理やピアノコンクールなどの事業を担当してきました。天竜地区はかつて祖母の家があり、幼いころ茶摘みの手伝いに来ていたことを思い出します。このホールが完成してすぐ見学に来た時、漠然と「ここで働くことになるのかも」と感じていたので不思議な縁ですね。

若林 私は平成18年から主に受付業務を担当しています。心掛けているのは、出来るだけ利用者の方々のお顔やお名前を覚えること。逆に利用者の皆さんが私の名前を覚えてくださったり、声をかけてくださったりすることが嬉しいです。特別な用事がなくても気軽に立ち寄りいただきたいです。

島田 なんといっても一番の魅力は素晴らしいホール。音響も良いし、利用料金もリーズナブル。音楽愛好家の皆さんにはぜひ一度使っていただきたいです。きっとリピートしたくなりますよ。



スタッフ 若林 智美

平成18年から天竜壬生ホールに勤め、受付業務を担当。

若林 天竜地区は景観も素晴らしいところ。春は鳥羽山公園など桜の名所がありますし、これからの時期は阿多古川でのキャンプが人気です。出発前の待ち合わせ場所としてここを利用される方もいますね。

島田 国際的なイベントやコンサートが開催されるアクトシティ浜松とは違って、天竜壬生ホールは地域性のある施設だと思いますが、私自身の施設運営への姿勢は変わりません。地域の皆様に愛されるホールを目指していきたいと思います。また、イベントなどの情報発信にも力を入れたいですね。



館長 島田 篤志

平成10年、(公財)浜松市文化振興財団に入社。18年間アクトシティ浜松に勤め、4月から天竜壬生ホール館長。これまで浜松国際ピアノコンクールや浜松国際ピアノアカデミーなどの事業を担当。

今後開催の自主事業

歌舞伎プレセミナー

平成29年7月14日(金) 14:00
[全席自由]500円

遠州和太鼓 夏の陣 2017

平成29年8月27日(日) 13:30
[全席自由]一般1,000円 高校生以下500円



浜松市天竜壬生ホール

〒431-3314
浜松市天竜区二俣町二俣20-2
TEL.053-922-3301
FAX.053-922-3300
[開館時間] 9:00 ~ 21:30
[休館日] 12月29日 ~ 翌年1月3日

舞台袖

演奏家派遣事業で、天竜区の中学校に演奏者と赴きました。四方を山に囲まれ、萌える緑が匂いたち、カッコウの鳴き声や川のせせらぎが聞こえてきます。この素晴らしい自然をバックに、それらが紡ぎだすものとはまた違う艶やかな楽器の響きをお届けできたことに喜びを感じました。奏でた音楽が、子どもたちの素直な心に深く静かに染み込んでいってくれたら・・・。



アクトシティ浜松(施設のご予約)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1111 FAX.053-451-1123

アクトシティ浜松(事業のご案内)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1114 FAX.053-451-1123

浜松市アクトシティ音楽院

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1150 FAX.053-451-1123



浜松市楽器博物館

〒430-7790
浜松市中区中央3-9-1
TEL.053-451-1128
FAX.053-451-1129



浜松文芸館

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
クリエート浜松4・5階
TEL.053-453-3933
FAX.053-453-3933



クリエート浜松

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
TEL.053-453-5311
FAX.053-453-5379



**浜松市旧浜松銀行協会
(木下恵介記念館)**

〒432-8025
浜松市中区栄町3-1
TEL.053-457-3450
FAX.053-457-3450



浜松科学館

〒430-0923
浜松市中区北寺島町256-3
TEL.053-454-0178
FAX.053-454-0184



浜松市浜北文化センター

〒434-0038
浜松市浜北区貴布祿291-1
TEL.053-586-5151
FAX.053-586-5153



浜松こども館

〒430-0933
浜松市中区鍛冶町100-1
TEL.053-450-9111
FAX.053-458-0300



天竜壬生ホール

〒431-3314
浜松市天竜区二俣町二俣20-2
TEL.053-922-3301
FAX.053-922-3300